

## ■フランス：大手電力 EDF、組織再編案を労働組合に提示

2019年6月21日付の現地報道によれば、フランス電力（EDF、国が株式84%を保有）は同6月20日、原子力事業と再エネ・小売事業の分離を柱とする組織再編案を労働組合に提示した。EDFを親会社「EDF ブルー」と子会社「EDF グリーン」に分割し、「EDF ブルー」は原子力発電、水力発電に加え、送電子会社 RTE を管轄する。一方、「EDF グリーン」は電力小売事業、配電事業、再エネ事業を担う。「EDF ブルー」の株式は国が100%保有し、「EDF グリーン」の株式は「EDF ブルー」が65%程度保有する（残りは一般投資家に開放される）。また、「EDF ブルー」の原子力発電電力量は、全量が規制価格で卸されるようになるとの報道もある。EDFの資金調達能力の向上を目的とする今回の再編案は、今後フランス政府との合意を経て、2019年末までに欧州委員会に提案される予定。この組織再編案に対して、労働組合は小売部門等の従業員の待遇悪化につながるおそれがあるとして強く反対しており、2019年9月19日にストを行うことを発表した。